

 埼玉県

＜埼玉建設工事関係者連絡会議＞

**埼玉県の建設工事について**  
～労働災害の防止・働き方改革～

令和4年11月16日（水）  
埼玉県 県土整備部 建設管理課



 埼玉県

**目 次**

1 労働災害の防止に向けた取組  
～県発注工事における安全衛生への配慮～

2 建設業における働き方改革

Page 2

# 1 労働災害の防止に向けた取組

## ～県発注工事における安全衛生への配慮～



## (1) 労働災害防止（安全衛生への配慮）の取組

### 1. 土木工事安全施工技術指針

本指針は、土木工事における施工の安全を確保するため、一般的な技術上の留意事項や施工上必要な措置等の**安全施工の技術指針**を示したもの。

※直近（R4. 2）の改正内容

「シールドトンネル工事の安全・安心な施工に関するガイドライン」（令和3年12月シールドトンネル施工技術検討会）策定に伴う改定

○泥水・添加材の調整と管理

地盤の状態に応じ、泥水式シールドでは泥水の比重及び粘性等について所定の品質を確保すること。

また、泥土圧シールドでは、適切な添加材を混合攪拌して所定の塑性流動性と止水性を満足するようにすること。（追記）

### 2. 契約時における確認票

建設工事の契約時に**労働災害の防止**や公正な取引、過積載や改造車両の不使用などを記載した「契約時における確認票」を作成し、**受発注者双方**で内容を**確認**する。

### 3. 建設工事現場における猛暑への対応

**猛暑日**（日最高気温が35度以上の日）を、県約款第21条第1項で示す「**天候の不良**」に該当するものとして、**工期延長協議の対象に位置付け**。

さらに、工事現場の**熱中症対策に係る費用**として、気候や施工期間を考慮した、**現場管理費の上乗せ補正**を試行（R元～）

## (2) 労働災害防止（安全衛生への配慮）の取組

### 4. コンプライアンス研修の実施

建設業の健全な発展のため、毎年、法令遵守を主テーマとして、建設業者を対象に開催している。（R4 Web開催予定）

<内容（予定）>

- ・建設業法、独占禁止法等に関する法令遵守
- ・建設業許可等の電子化、社会保険・建退共への加入
- ・その他

### 5. 建設職人基本法の県計画の策定

建設工事従事者の安全と健康の確保に関する施策を総合的・計画的に推進することを目的とし、H29.3に法施行。同法9条に基づき、R3.3に県計画を策定。県HP及び県政情報センターで公開中。



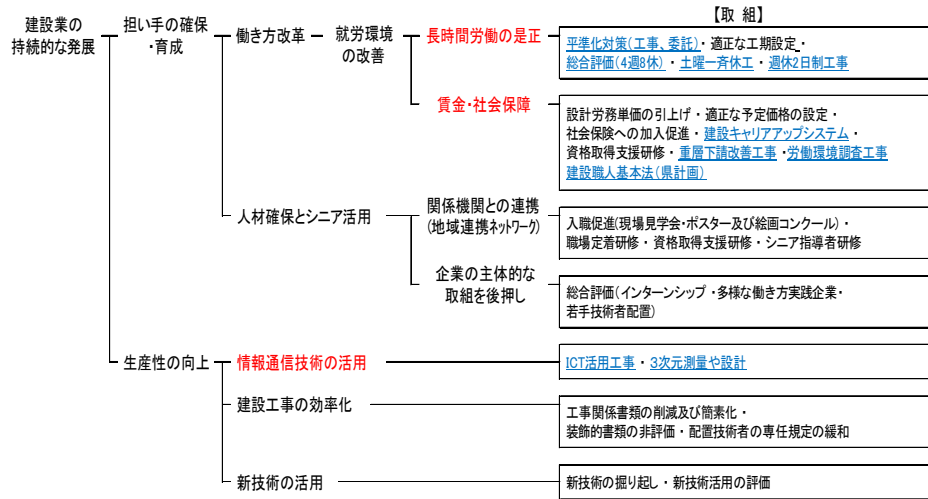
【URL】

<https://www.pref.saitama.lg.jp/a1002/kensetsusyokuninkihouhou.html>

## 3 建設業における働き方改革



## (1) 働き方改革に関する県の施策体系



## (2) 発注・施工時期の平準化【取組内容】

令和4年11月

**平準化のイメージ**

**目的**  
公共事業が年度当初に少なくなることや年度末に過度に集中することを避ける等

**目標**  
第1四半期稼働件数を年間平均稼働件数の90%以上に  
⇒ 4～6月に約460件の稼働工事を政策的に誘導 (①④⑤⑥⑦)

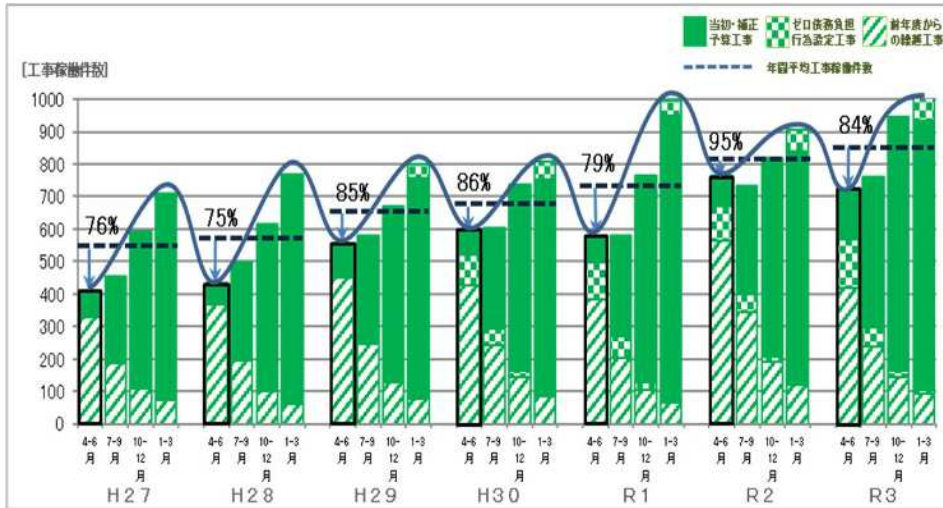
**平準化の効果**  
受注者側→人材、資機材の効率的な活用と雇用の安定化  
発注者側→発注工事の品質確保、中長期的な公共事業の担い手確保

**実現に向けた令和4年度の取組**

| 平準化施策        | 取組概要                    | 【取組着手時期】                              | 具体的な実施事例   |
|--------------|-------------------------|---------------------------------------|--|
| 早期執行のための目標設定 | ①目標設定                   | 【H30第1四半期】                            | 平準化率 9.0%以上  |
|              | ②発注見通しの公表               | 【H26.4(当初予算)】                         | 4年度当初予算の公表 4月中旬  |
| 債務負担行為の活用    | ③ゼロ債務負担行為の設定            | 【H29.12議会】                            | 3月末迄契約 12月完了<br>4年度限度額 76億2,840万円 目標:180件<br>実績:167件設定 ⇒ 183件契約 (目標+3件) 83.12 議会                   |
|              | ④債務負担行為の設定 (うち工期12か月未満) | 【H30(当初予算)】                           | 5年度限度額 55億6,513万円【8事業】<br>(23億2,213万円【4事業】) 83.9 議会 83.12 議会                                       |
| 速やかな繰越手続     | ⑤繰越明許費の設定               | 【R2.9議会】 9月補正予算<br>【H28.12議会】 12月補正予算 | 設定額 61億8,254万円【21事業】<br>設定額 85億9,700万円【23事業】 計147億7,954万円  |
| 積算の前倒し       | ⑥発注準備工事 (前年度中に積算準備)     | 【H27.4(当初予算)】                         | 6月末迄契約 年度内完了<br>補正予算判明前目標:103件<br>R4.2補正予算成立後目標:281件(178件追加)<br>実績:307件設定 ⇒ 274件契約 (目標-7件) 84.7 議会 |
| 柔軟な工期の設定     | ⑦工事開始日、配置技術者の柔軟な運用      | 【H29.12】                              | 制度改正 (H29.12.22以降から適用)   |

## (2) 発注・施工時期の平準化【取組実績】

◆平準化率（第1四半期稼働件数／年間平均稼働件数）の推移



## (3) 休日の確保【週休2日の推進】①

### 1. 総合評価方式での評価 平成28年度～

○4週8休以上を確保する工程管理を行う場合に加点評価

<取組実績>

- ・平成28年度： 7件発注、 6件が加点落札
- ・平成29年度： 14件発注、 13件が加点落札
- ・平成30年度： 7件発注、 7件が加点落札
- ・令和元年度： 12件発注、 11件が加点落札
- ・令和2年度： 16件発注、 15件が加点落札

○令和3年度からは取り組んだ実績に対し加点評価

- ・令和3年度： 11件発注、 4件が加点落札

### 2. 県内建設工事現場の土曜一斉休工 平成29年度～

○建設業界の意識醸成のための土曜休工

<取組実績>

- ・平成29年度： 2回（10月7日、11月4日）
- ・平成30年度： 5回（7月14日、9月15・22日、10月6日、11月24日）
- ・令和元年度： 5回（7月13日、8月10日、9月14・21日、11月2日）
- ・令和2年度： 6回（9月19・26日、10月10・24日、11月14・21日）
- ・令和3年度： 7回（8月21日、9月11・18日、10月9・16日、11月13・20日）
- ・令和4年度： 7回（8月20日、9月10・17日、10月8・15日、11月12・19日）

### (3) 休日の確保【週休2日の推進】②

#### 3. 週休2日制モデル工事の導入 令和元年度～

○週休2日を契約条件とするモデル工事を導入

<実施方法>

- ・「発注者指定型」及び「受注者希望型」を併用

<経費の補正>

- ・週休2日に見合う経費となるよう、国と同様、労務費、機械経費、  
共通仮設費、現場管理費を補正して加算計上

<工事成績評定の加点> R3. 2～

- ・現場閉所の実績に応じて、「創意工夫」の項目において工事成績評定の加点を行う

### (4) 情報通信技術の活用【ICT工事】

#### ① 3次元測量



<効果>

- ・重機の日当たり施工量最大1.5倍
- ・作業員 約1/3

<R3実績>

- ・198件発注 → 71件実施

#### ② 3次元データ化



#### ③ 建機の自動制御

## (5) 就業環境の改善 ②

### 3. 建設キャリアアップシステム（CCUS）活用モデル工事

令和4年1月～

○建設キャリアアップシステムの活用を条件とするモデル工事を導入

#### <実施方法>

- ・発注者指定型及び受注者宣言型

#### <実施内容>

- ・受注者は①事業者登録②現場・契約情報登録③技能者登録④就業履歴情報登録の4項目について実施

#### <インセンティブ>

- ・カードリーダー等購入費用や現場でのカードタッチ費用を実績に応じて、受注者の費用負担を軽減する
- ・実施内容の基準を達成した場合に、「創意工夫」の項目において工事成績評価の加点を行う

ご清聴ありがとうございました

